

若手職員へのインタビュー

税関に興味を持って下さっている皆さん、ぽんやりとこんな疑問を抱いていませんか？

「税関ってどんなところなんだろう？」
「皆、どんな仕事をしているの？」
「先輩や上司はどんな人たち？」など等・・・。

そこで、税関に入って間もない若手職員や
様々な専門職についている先輩職員を直撃！
インタビューを通して「ホンネ」を語ってもらいました。

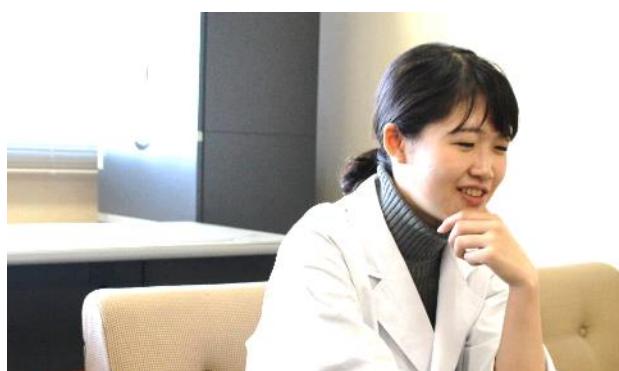


Vol.1 「税関でしかできない仕事がある」



今年度採用され、関西空港で入国旅客の手荷物検査を行なう新人職員から今だから話せる事を聞いてきました。

Vol.3 「幅広いから飽きないし、専門も活かせる」



税関は一見、理系の人には縁がないように思われがち。大学と大学院で化学を専攻した生糸の「リケジョ」が税関を選んだ訳とは？当時の心境を語ってくれました。

Vol.2 「初心をずっと忘れずにいたい」



民間で働いた経験を持つ「第二新卒」の新人職員から、税関に転職した訳や民間との違いを語ってもらいました。

Vol.4 「チームに貢献したい。一人前になりたい」



若手2人が働く審理・検察部門。なんだか聞きなれないけど実は密輸犯の取り調べや捜査機関との関わりもある、とても刺激的な仕事！若手目線でその日常を語ってもらいました。